



SUNTORY HALL

日本音楽財団
NIPPON MUSIC FOUNDATION

NEWS RELEASE

2022 年 6 月 (No.sh0382)

ストラディヴァリウス・コンサート 2022

湧えわたるアンサンブル～ゴルトムント・クアルテット



ゴルトムント・クアルテット ©Nikolaj Lund



パガニーニ・クアルテット(日本音楽財団保有)

希少なストラディヴァリウスの弦楽四重奏セット「パガニーニ・クアルテット」を携え ヨーロッパで注目のゴルトムント・クアルテットが日本初登場

サントリーホールと日本音楽財団は、**ストラディヴァリウス・コンサート 2022** を **2022 年 10 月 7 日(金)と 8 日(土)** に、サントリーホール ブルーローズ (小ホール) で開催します。

日本音楽財団よりストラディヴァリウスを貸与されている世界的な演奏家が出演する**ストラディヴァリウス・コンサート** (英文表記: Encounter with Stradivari) は1998年から始まり、サントリーホールでは10挺以上のストラディヴァリウスと演奏家が一堂に会する大規模な演奏会を2008年(日本音楽財団創立35周年記念)、2012年、2016年と開催してきました。

今回は世界に6組のみ存在するストラディヴァリウスの弦楽四重奏セットの一つである「**パガニーニ・クアルテット**」を携え、新進気鋭の若手弦楽四重奏団としてヨーロッパで注目を集めている**ゴルトムント・クアルテット**が日本で初めて演奏会を行います。この「**パガニーニ・クアルテット**」は過去に**東京クアルテット**に貸与されており、2019年5～6月にはサントリーホール チェンバーミュージック・ガーデンの名物企画ベートーヴェン・サイクルに出演した**クス・クアルテット**にも貸与されていました。今回はゴルトムント・クアルテットと共にサントリーホールに登場し、その類稀な音色と歴史的価値には大きな期待が寄せられます。

本公演は、当初2021年の開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となりましたが、今年は満を持して、東京公演のほか、鳥取(10月10日(月・祝) 倉吉未来中心 大ホール)と大阪(10月12日(水) 住友生命いずみホール)での公演が行われます。なお、東京、鳥取、大阪公演のチケット売上金の全ては、それぞれ、公益財団法人サントリー芸術財団サントリーホール(東京公演)、公益財団法人鳥取県文化振興財団(鳥取公演)、一般財団法人住友生命福祉文化財団(大阪公演)の行う公益事業に使用します。

<ストラディヴァリウス「パガニーニ・クアルテット」(日本音楽財団保有)>

名工アントニオ・ストラディヴァリ(イタリア、1644～1737)が製作した弦楽器は、弦楽器の最高峰として世界中の演奏家やコレクターに愛されている。そのストラディヴァリウスだけで構成された、ヴァイオリン2挺、ヴィオラ、チェロから成るクアルテットは世界で6セットのみが存在を知られ、そのうちの一つである「**パガニーニ・クアルテット**」は、ニコロ・パガニーニ(イタリア、1782～1840)が集め、自らの四重奏団で演奏していた貴重なセットである。

[写真・資料のご請求、ご取材・お問合せ]

サントリーホール 広報部 TEL 03-3505-1002 FAX 03-3505-1007 <http://suntory.jp/HALL/>
公益財団法人 日本音楽財団 TEL 03-6229-5566 FAX 03-6229-5570 <https://www.nmf.or.jp/>

[チケットのお申し込み・お問合せ]

サントリーホールチケットセンター TEL 0570-55-0017 (10:00～18:00 休館日を除く)
サントリーホール・メンバーズ・クラブ WEB <https://suntoryhall.pia.jp/>

ストラディヴァリウス・コンサート 2022

Encounter with Stradivari 2022

冴えわたるアンサンブル〜ゴルトムント・クアルテット

【日時】 2022 年 10 月 7 日（金）19:00 開演（18:20 開場） プログラム A
2022 年 10 月 8 日（土）14:00 開演（13:20 開場） プログラム B

【会場】 サントリーホール ブルーローズ（小ホール）

【出演／使用楽器】

弦楽四重奏：ゴルトムント・クアルテット Goldmund Quartet, String Quartet

／ストラディヴァリウス「パガニーニ・クアルテット」 Stradivarius “Paganini Quartet”

第1 ヴァイオリン：フロリアン・シェッツ Florian Schötz, 1st Violin／1727 年製ヴァイオリン「パガニーニ」

第2 ヴァイオリン：ピンカス・アット Pinchas Atd, 2nd Violin／1680 年製ヴァイオリン「パガニーニ」

ヴィオラ：クリストフ・ヴァンドーリ Christoph Vandory, Viola／1731 年製ヴィオラ「パガニーニ」

チェロ：ラファエル・パラトーレ Raphael Paratore, Cello／1736 年製チェロ「パガニーニ」

【曲目】

プログラム A（10 月 7 日）

ハイドン：弦楽四重奏曲第 67 番 ニ長調 Hob. III:63 「ひばり」

Franz Joseph Haydn: String Quartet No. 67 in D Major, Hob. III:63, “The Lark”

ショスタコーヴィチ：弦楽四重奏曲第 8 番 ハ短調 作品 110

Dmitri Shostakovich: String Quartet No. 8 in C Minor, Op. 110

シューベルト：弦楽四重奏曲第 14 番 ニ短調 D. 810 「死と乙女」

Franz Schubert: String Quartet No. 14 in D Minor, D. 810, “Der Tod und das Mädchen”

プログラム B（10 月 8 日）

ヴェーバーン：弦楽四重奏のための緩徐楽章

Anton Webern: Slow Movement for String Quartet

メンデルスゾーン：弦楽四重奏曲第 4 番 ホ短調 作品 44-2

Felix Mendelssohn: String Quartet No. 4 in E Minor, Op. 44, No. 2

プッチーニ：弦楽四重奏曲 嬰ハ短調「菊の花」

Giacomo Puccini: String Quartet in C-sharp Minor, “Crisantemi”

ベートーヴェン：弦楽四重奏曲第 6 番 変ロ長調 作品 18-6

Ludwig van Beethoven: String Quartet No. 6 in B-flat Major, Op. 18, No. 6

【主催】 日本音楽財団／サントリーホール

【助成】 日本財団

【チケット料金】 全席指定 一般席 4,500 円（正面） サイドビュー席 3,000 円 （消費税込）
Reserved Seating ¥4,500 (Stage Front) ¥3,000 (Stage Side)

【チケット発売】

サントリーホール・メンバーズ・クラブ先行発売：6 月 17 日（金）10 時～23 日（木）

※先行期間中は窓口での販売はございません。

一般発売：6月24日（金）10時～

【チケット取り扱い】

サントリーホール・メンバーズ・クラブ WEB <https://suntoryhall.pia.jp/>（登録料・会費無料、座席選択可能）

サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017（10:00～18:00 休館日を除く）

チケットぴあ t.pia.jp

イープラス eplus.jp

※新型コロナウイルス感染症拡大防止の対応上、出演者・曲目に変更がある場合がございますので、あらかじめご了承ください。最新情報はホームページでお知らせします。<http://suntory.jp/HALL/>

※就学前のお子様は同伴・入場いただけません。

他都市公演

鳥取公演 プログラム A 10月10日（月・祝）14:00 開演 倉吉未来中心 大ホール

大阪公演 プログラム A 10月12日（水）19:00 開演 住友生命いずみホール

【プロフィール】

■弦楽四重奏：ゴルトムント・クアルテット Goldmund Quartet, String Quartet

／ストラディヴァリウス「パガニーニ・クアルテット」 Stradivarius “Paganini Quartet”

第1 ヴァイオリン：フロリアン・シュッツ Florian Schötz, 1st Violin／1727年製ヴァイオリン
「パガニーニ」

第2 ヴァイオリン：ピンカス・アット Pinchas Adt, 2nd Violin／1680年製ヴァイオリン「パガニーニ」

ヴィオラ：クリストフ・ヴァンドーリ Christoph Vandory, Viola／1731年製ヴィオラ「パガニーニ」

チェロ：ラファエル・パラトーレ Raphael Paratore, Cello／1736年製チェロ「パガニーニ」

2010年に結成。新進気鋭の若手弦楽四重奏団として注目を集めている。ソフィア王妃高等音楽院にてアルバン・ベルク四重奏団のギュンター・ピヒラー、ベルリンにてアルテミス・カルテットに師事。ハーゲン、ボロディン、イザイなどの弦楽四重奏団のマスタークラスでも研鑽を積んだ。16年ミュンヘン国際音楽コンクールにてバイエルン若手アーティスト賞およびカール・クリングラー賞、18年ウィグモアホール国際弦楽四重奏コンクール第2位を受賞、同年メルボルン国際室内楽コンクールでは優勝したほか、新進気鋭の演奏家に贈られるヨーロッパ・コンサートホール協会のライジング・スター19／20に選ばれた。ヨーロッパ、アジア、北アメリカの世界有数の室内楽ホールで公演を行っており、ウィーン・コンツェルトハウス、アムステルダム・コンセルトヘボウなどでのデビュー公演を経て、20／21年はフィルハーモニー・ルクセンブルク、ポルトガルのカーザ・ダ・ムジカで公演するほか、エディンバラ国際フェスティバル、ボン・ベートーヴェン音楽祭、シュレースヴィヒホルシュタイン音楽祭へ出演した。20年ベルリン・クラシックスから3枚目のアルバムとなる、現代音楽の著名な作曲家による作品を収録した『Travel Diaries』がリリースされ、好評を博している。